

第 56 回日本痔職学会大会

## COI 自己申告書

氏 名	※共同演者含む全員記載、発表責任者に◎
所 属	
セッション名・講演名	

上記セッション/講演に関連して、開示すべき COI 関係にある企業等を項目ごとに記載する  
 (抄録登録時から遡って過去 3 年間の COI 状態を申告)

※発表責任者(筆頭発表者または Corresponding Speaker) がとりまとめて COI 自己申告を行うこと(共同演者を含む全ての演者の合計額ではなく、演者個々人の COI 状態で規定額を超えた者がいる場合は申告対象とする)

※(親族)・・・配偶者、一親等内の親族、または収入・財産的利益を共有する者の申告事項

項 目 演者およびその親族に関する申告事項	該当の状況 (どちらかにチェックして下さい)	有の場合、企業・団体名の記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 (1つの企業・団体からの報酬額が年間総額 100 万円以上のものを記載)	(全員) 有・無	
	(親族) 有・無	
② 株の保有と、その株式から得られる利益(1年間の本株式による利益) (1つの企業からの1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	(全員) 有・無	
	(親族) 有・無	
③ 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 (1つの特許使用料が年間総額 100 万円以上のものを記載)	(全員) 有・無	
	(親族) 有・無	

<p>④ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席（発表，助言など）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当，講演料などの報酬 （1つの企業・団体からの講演料が年間総額50万円以上のものを記載）</p>	<p>（全員） 有・無</p>	
<p>⑤ 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料 （1つの企業・団体からの原稿料が年間総額50万円以上のものを記載）</p>	<p>（全員） 有・無</p>	
<p>⑥ 企業や営利を目的とした団体が契約に基づいて提供する研究費 （1つの企業・団体から医学系研究（共同研究、受託研究、治験など）に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた年間総額100万円以上のものを記載）</p>	<p>（全員） 有・無</p>	
<p>⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄附金 （1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた年間総額100万円以上のものを記載）</p>	<p>（全員） 有・無</p>	
<p>⑧ 企業等が提供する寄附講座 （企業等からの寄附講座について、所属しているものを記載）</p>	<p>（全員） 有・無</p>	
<p>⑨ その他の報酬（研究、教育、診療とは直接に関係しない旅行、贈答品など） （1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載）</p>	<p>（全員） 有・無</p>	
<p>項目 所属する研究機関・部門（研究機関，病院，学部またはセンターなど）にかかる institutional COI</p>	<p>該当の状況 （どちらかにチェックして下さい）</p>	<p>有の場合、企業・団体名の記載</p>

<p>①企業や営利を目的とした団体が提供する研究費</p> <p>(企業・組織や団体が提供する研究費のうち、一つの企業・組織や団体から申告者が所属する研究機関、部門もしくはそれらの長が受領し、所属する研究機関、部門もしくはそれらの長が実質的にその用途を決定しうる総額が年間 1,000 万円以上となるものを記載)</p>	<p>(全員) 有・無</p>	
<p>②企業や営利を目的とした団体が提供する寄附金</p> <p>(企業・組織や団体が提供する寄付金のうち、一つの企業・組織や団体から申告者が所属する研究機関、部門もしくはそれらの長が受領し、所属する研究機関、部門もしくはそれらの長が実質的にその用途を決定しうる総額が年間 200 万円以上となるものを記載)</p>	<p>(全員) 有・無</p>	
<p>③その他</p> <p>(申告者が所属する研究機関、部門もしくはそれらの長が企業の株式を保有(発行済株式の 5%以上)、企業・組織や団体からの特許使用料を受領、企業・団体等へ投資し残高がある場合、それを記載)</p>	<p>(全員) 有・無</p>	

(本 COI 申告書は講演後 10 年間保管されます)

(申告日) 年 月 日

自署 (責任者) \_\_\_\_\_